

小春日和の野外スケッチ

東支部 阿部 勉



行事の関係上遅れ遅れになっていた秋の野外スケッチは、11月18日、笠間北山公園で行いました。

前日の荒天と打って変わって、朝からポカポカ陽気となりました。北山公園はすっかり色づいて、各自、水面に映り込んだ色とりどりの紅葉や立ち枯れた蓮などを取り込んで、スケッチしました。当日は10名の参加者でやや淋しい気がしましたが、天気が良かったので、楽しくスケッチできたと思います。

午後2時にスケッチを切り上げ、当初予定の日動美術館に行き、フランス画壇巨匠のシャガール、マチス、ヴラマンクなどの名画をゆっくりと鑑賞して帰りました。

好天に恵まれた文化祭

東海美術連盟事務局長 堀川 豊彦

平成24年度東海村文化祭の絵画彫刻展（第82回東海美術連盟展）が、11月2日～4日までの3日間総合体育館で開かれました。一昨年は大型台風の襲来！昨年は震災から立ち直る厳しさの中での開催でしたが、今年は3日間とも好天に恵まれ、多数の方の来場を得ました。作品総数は79点（会員60、彫刻6、一般・教室13点）で、例年以上に中・大作が多く充実した展示内容で会場を飾ることができました。また、第4回を迎えた「東海村とごだわがつけ」展も好評のうちに終了することができました。皆様のご協力に感謝いたします。

絵画教室などから今年度多くの方々が美術連盟に入会され、会員層の厚みが増しています。この充実ぶりを生かして、これからの行事や展覧会に向けて頑張らしましょう。



東海村ゆかりの故茨城大学教授稲村三先生の遺作も特別出品され、展示に華を添えました。



下路 弘子さんに Tea タイム

Q 本格的な絵はいつごろ、どういうきっかけで描かれましたか？

A 25年も前になりますが、当時、主人と長男を相ついで亡くし、悲しみの中で毎日が苦しく、何かに救われたいという気持ちでおりました。そんな折り、縁あってノンブラックという会に入れて頂いたことが絵を描ききっかけとなりました。絵を描くことは、小学生の頃から好きで、写生会等でときどき賞をいただいていた。そんなわけで定年退職を機に、美術連盟に入れていただきました。

Q 絵を描くのは、時間を決めて描きますか、それとも気分で？

A 一応、描こうという日は決めるのですが、予定通りにはなかなかいきません。どちらかという気分次第で描く方でしょうか。集中して描くのは、やはりグループ展等の搬入が迫っている時ですね。

Q 好きな作家は？ どういうところが好きですか？

A シャガールが好きです。あの美しい色彩世界の中で浮遊する天使や動物、道化師等、見ているとなんだか心が温かくなり、夢や希望が持てるような気持ちになります。

Q 絵を描く以外に好きなことはなんですか？

A 時代小説や推理小説を読むことです。ボランティア活動も楽しくみんなと行っていますが、独りでボーっとしている時間も大切にしています。

ほかに、我が家の大きなワンちゃんの朝晩の散歩は、私の欠かせない日課で、雨にも風にもめげずに歩いています。

Q 絵を描き続けて良かったことは？

A 絵を通して、多くの友人、知人ができたことは、私の大きな財産と思ひ感謝しています。また、仕事をしている頃は、忙しい仕事を持ちながら絵を描いている社員が居るということで、たびたび社内報で取り上げていただき、私は全国区になり、仕事上大変やりやすく「得？」をしたようです。

Q 近々展覧会がありましたら、教えて下さい。

A 来月1月末にリコッティで初の作品展を予定しています。

今年、古希を迎えた記念にという意味と、これまで描いてきたつたない絵を整理して、作品展に臨みます。また、一歩から気持ちを新たに、恥をかいしてみようかと思っておりますので、よろしくお願いたします。



村松社協のボランティアをする下路さん

公募展だより
日上市展

入賞・入選おめでとうございます。

9月15～23日 日立シビックセンター



日立美術協会賞 山本 啓子 「日常」



松尾 秀子 「私の部屋」



本多 清子 「zakuro」



★新会員紹介

荒巻 富美子さん (東支部)



水彩画歴10年ぐらいです。入会を期にますます精進し「自分の絵」が描けるようになったらいいなと思います。また皆さんの作品を沢山鑑賞させて頂き、交流を重ね、人生をより豊かなものにしていただろうと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

椎名 悦子さん (西支部)



水彩画愛好会の椎名です。ご指導頂いております佐藤康雄先生を通し、数年前から、文化祭に出品させて頂き、東海美術連盟の皆様には御世話になり、ありがとうございます。このたび、入会させて頂きました。ご指導よろしくお願ひ申し上げます。

助川 公宏さん (西支部)



小学校時代、校庭で写生したことを思い出し、十年くらい前、水彩画講座の佐藤先生にご指導頂き、今日に至っております。退職を機に故郷に帰り、花木野菜づくりに親しんでいます。未熟ですが、よろしくお願ひします。

坪井 みどりさん (北支部)



「気軽にスケッチを」という公民館の教室に参加して、初めて描くことの楽しさを知りました。それからは、もの見方にもおもしろさ、奥の深さを感じるこの頃です。皆様、楽しく描きたいと思ひます。ご指導をよろしくお願ひいたします。

茨城県芸術祭

入賞・入選おめでとうございます。

9月29日～10月14日 近代美術館

田所 満ち子さん (東支部)



佐藤先生にご指導を受け、水彩画を描き？年になります。見て感動したものを絵で表現できたら最高！と初めた水彩画はずかしく、四苦八苦している今の私に救いの手を!! どうぞよろしくお願ひいたします。



後賞 吉田 ミサラ 「華」



神永 マサ子「ともに古代へ」



木村 隆 「支える」



栗原 豊 「春遠からじ」



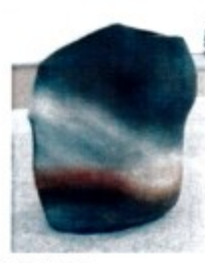
木梨 るみ子 「想」



萩野谷 章子 薪能「狸々」



川崎 敏子 「忘れ物」



(工芸部門) 萩野谷 博 「あかつき」

県芸術祭美術展洋画部門審査員を担当して

東海美術連盟理事長 高橋 忠治

このたびの県芸術祭（以下県展）洋画部門で、10名の方が入賞・入選しました。一般的には入選率50%は難関と言われます。県展の場合511点の応募に対し201点の入選ですから、入選率は39%で超難関と言えます。

中央画壇が作家の登竜門であり、県展は市町村の競作展と思っております。東海村の入賞・入選者は10名。内美術連盟で1名入賞し6名が入選しました。心からお喜び申し上げます。

東海村の人口に近い市の入選人数を調査しました。会友以上と入選人数の合計で東海村が13名、那珂市9名、常陸太田市10名、高萩市5名、笠間市12名でした。この数字を見る限り東海村の作品レベルが高い事を物語っていると自画自賛しております。

さて、審査の仕方ですが応募作品を1点ずつ監査し、審査員15名で挙手を行い7名以上の挙手で入選となります。6名～4名の挙手の作品を保留として残し、入選展示予定数に満たない場合、保留を入選として取り上げます。

これ迄に中央画壇、県展、市展などで審査を経験してきましたが、人を感動させる良い作品には条件があります。

- 1 類似性がない（誰もが描いていないモチーフ、手法）
- 2 インパクト性が高い（明度、彩度の中を最大限に使う）

- 3 独自の技術を持つ（自分の画境を高めるためには使える物は何でも使う）
- 4 作品にリズムを作る（一番先に目に止めてもらいたいところ、2番目、3番目と）
- 5 欠点を少なくする（作品の強弱感が大事でグレースすると効果大）

絵画の生命は独自性を発揮し感動させることであります。

最後に、趣味で絵を描き展示すること（グループでスケッチ等で楽しむ）と審査のある展覧会に出品すること（自分の生き方、考え方を社会に提示する）は全く目的が違います。力点をどこに置くかの違いだけです。

これからの絵画人生を楽しんで頂ければ幸いと存じます。



「抽象画の鑑賞と表現のしかたについて」
多数の来場者を前に解説する高橋さん

Infomation

アートロードキックオフ	1月27日（中丸コミセン 10時～11時30分）	【アートロード会員】
東海美術連盟新年会	1月27日（中丸コミセン 午後12時～）	【美術連盟会員】
下路弘子作品展	1月30日～2月日（リコッティ）	
第25回アートロード展2012	2月1日～4月30日（協賛店）	
第25回アートロードステーションギャラリー展	2月3日～2月23日（東海ステーションギャラリーA・B）	
&キッズフェスティバル		
アートフラッグ小品展	2月13日～2月19日（リコッティ）	【アートフラッグ会員】
東海美術連盟コスチュームデッサン会	2月17日（白方コミセン予定）	【美術連盟会員】
東海美術連盟総会	3月31日（場所未定）	